

OS28-3 製薬企業としての取組み

○中島 竜介¹

¹アステラス製薬

医薬品市場がグローバル化するなか、製薬会社として世界の競合と伍して成長し続けるためには、人種・国籍・性別・年齢を問わず、多様な人材が活躍できる場、多様な発想からイノベーションが生まれるような組織文化が必要でした。そこでアステラスではダイバーシティの取組みを開始、まずは「女性の活躍」を推進することを取組みの出発点にすえ、WIND（Women's Innovative Network for Diversity）プロジェクトを発足しました。「女性の活躍」から光をあてる WIND プロジェクトは、明らかな偏重を見せるジェンダー（性）の課題にさえ対応できなかつたら、そのほかのダイバーシティの課題を解決していくことはできないという思いから発足したものです。この取組みから女性が活躍できる舞台は確実に広がりました。育児、結婚を理由に退職する女性社員が減少し、女性の離職率は男性と大きな差は見られなくなってきました。また、女性社員数や女性経営基幹職数は着実に増加してきました。2015年度からはこれらの取組みに加え、休暇取得への意識向上や業務改善などの「働き方改革」を推進するプロジェクトを発足しています。アステラスグループの経営理念、『先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する』を実現し、VISON を推進するためには、社員一人ひとりが高い生産性や創造性を発揮する自己実現が可能な働き方を実践し、能力や創造性を最大限に発揮して、組織の成長につなげることが重要であると考えています。